

校長室だより

第11号

平成29年9月25日



MOTTAINAI (もったいない)

## 親思う 心にまさる 親心…

ドラマ『植木等とのぼせもん』から

9月上旬より、母が入院した。以前の入院で病院内を徘徊した事があるため、付き添いを要請された。1週間あまり、姉と交互で病室に泊まることになった。

そんなある日、ようやく母が寝付いてくれた。

そして、たまたまつけたTVを何気なく観ていると、話の深さにどんと引き込まれた。

山本耕史主演の『植木等とのぼせもん』という8回シリーズの初回のドラマだった。

このドラマは、植木等の運転手兼付き人だった、小松政夫の自伝を元につくられているようだ。私が引き込まれたのは、次のようなやりとりだった。

小松政夫を雇った時、幼くして父を亡くした小松の事情を知り、「お父さんを早くに亡くされたそうだが、これからは僕を父と思えばいい」と声を掛けたそうだ。しかし、当時大スターの植木に、気軽に親父のように声をかける小松ではなかった。そのわだかまり、さびしさを、植木は父に愚痴った。植木の父は、「お前が彼のことを、実の子どもだと思ってやらないと…」と、植木に返した。そんなある日、小松の母が、息子がお世話になっている植木等に挨拶をせねばと、田舎から出てきた。小松は、多忙を極める植木等に遠慮し、母を田舎に帰した。後日、それを聞きつけた植木が、「親を粗末にするやつは、俺の付き人じゃない…」と激怒し、小松の目の前で、小松の母親に謝罪の電話を入れるというシーンだった。TVを観ながら、思わず涙がでてきた。同時に、母の介護に疲れ、母への感謝を忘れそうになる自分にも向けられた言葉のようにも感じた。

幕末の志士、吉田松陰が二十九歳で処刑されたときに詠んだ辞世の句。「親思う 心にまさる 親心 けふのおとずれ 何ときくらん」。まさに、「親思う 心にまさる 親心」を実感したシーンだった。

そこから、植木を「親父さん」と慕い、後に俳優・コメディアンとして活躍する“のぼせもん”小松政夫の物語は始まったようだ。

植木自身も、幼い頃、僧侶であり社会活動家であった父が、戦前の治安維持法により投獄され、そんな父を否定的に見ていた時期があり、植木の母に何度も諭された経験もあったようだ。

2学期、生活科や総合で、親の仕事や家族について学習する機会もあります。親子が互いに考える時間やきっかけにいただければ幸いです。



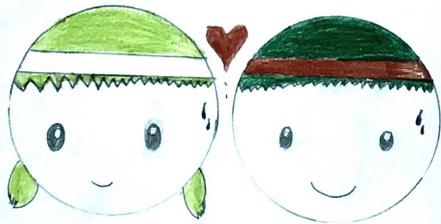
# 一生懸命は美しい！ 運動会を盛り上げよう！

先日、第5中学校の運動会に参加した。1年生から3年生までの、100 m走を観た。1位になって喜んでいる生徒。負けて「くそっ！」と本気で悔しがっている生徒。本気で一生懸命走る姿が爽やかだった。あらためて「一生懸命は美しい！」と思った。



10月1日(日)は、天美小学校の運動会です。子どもたちも、団体演技、団体競技、応援合戦、リレー、係の担当など、一生懸命頑張っています。

イラストは、6年生の児童が描いてくれた天小キャラクター・運動会バージョンです。このイラストのように、みんなが笑顔になれる、「一生懸命が美しい」運動会になるよう、保護者の皆さんの参加・応援をお願いします。



# 天美小学校の良いところ？！

平成20年度より、阪南大学のボランティア講座を受講している学生の、松原市内小学校でのボランティア実習が始まりました。講座を担当している先生は、本校の学校評議員でもある中村有美先生です。今年も、実習生が一人入ってくれました。

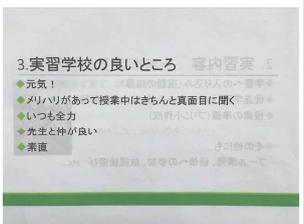
先日、ボランティア実習を終え、講座で発表したプレゼンテーションが送られてきました。ボランティアの学生が、実習を通して悩んだこと、嬉しかったこと、そして、天美小学校の印象を率直に書いてありました。「なるほど…」と言うことも多々ありました。少し紹介させていただきます。

## 3. 実習学校の良いところ

◇元気！ ◇メリハリがあって授業中はきちんと真面目に聞く ◇いつも全力 ◇先生と仲が良い ◇素直  
そして、こんなことも書いてくれました。

## 7. まとめ

◇子ども好きってだけじゃ先生になれないこと…  
◇子どもの笑顔・元気に何度も救われた！…  
こんな声にこれからも応えていきたいです。



# スイス・バーゼルからの手紙

1学期末、1年生にスイスのバーゼルから里帰りされたお子さんが、体験入学されました。とても有意義な体験だったようです。8月14日にスイスの学校に入学された報告やその様子の写真、1年生へのメッセージをエアメールでいただきました。エアメールを受理したことを電子メールで連絡しました。

そして、電子メールでご返信をいただきました。天美小学校に関係する者にとって、とても嬉しい内容でしたので、ご本人了解の上、その一部を紹介させていただきます。

「…エアメールが届いたとのご連絡、ありがとうございます。まれにですが、国際郵便は紛失することもあり、娘と共に”そろそろ、無事に着いたかな〜?”と話していたときでしたので、うれしいお知らせです。

天美小学校では、もうすでにたくさんの活動が行われているんですね。2学期が始まって間もないのに、スポーツテストに着衣水泳、ソーラン節に昔の日本の生活文化と、娘だけではなく私にも面白そうなトピックが並んでいて、いきいきとした学校の様子が伝わってきます。

…ちなみに、我が家では毎朝7時前に天美小学校の校歌が流れます。娘の目覚まし時計です。鼻歌も校歌だったりで、かなりの気に入りようです。…」

スイスの朝に、我が天美小学校の校歌が流れているんですね。スイスの現地で、天美小学校の校歌が聴きたくなりました。(！\*)

写真は、ライン川の流れる、スイス・バーゼルの街

